

[大会テーマ] 表現の拡張としてのアニメーション

[会期] 2003年6月28日(土)~6月29日(日)

[会場] 京都造形芸術大学

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116  
TEL:075-791-9353 FAX:075-791-8398  
大会当日TEL:075-791-9122(代表)

[大会参加費] 正会員・海外会員 5,000円  
賛助会員 2名まで無料(3名以上からは正会員に準ずる)  
一般 3,000円  
学生 1,500円  
懇親会費 5,000円(学生 2,000円)

[第5回大会実行委員] 天野一夫(委員長)

相原信洋 伊藤高志 五十川あき 太田省吾 大西宏志  
鎌田高美 河原崎貴光 田名網敬一 林海象 増田龍治

飲食案内

28日(土)通常通り授業がありますので、学内食堂(南棟1F)・ラウンジ天心(人間館2F)は10:00から14:00迄営業しております。@カフェ(人間館1F)も同時間帯に営業しております。飲み物の自動販売機は学内各所にあります。大会会場の他に会員向けの休憩所を設け、そこで湯茶のサービスを実施します。詳しくは当日の案内をご覧ください。

29日(日)大学は休業日のため、ドリンクのみ@カフェにて12:00から15:30迄営業しております。大学付近に若干ある飲食店をご利用ください。なお、初日に引き続き、会員向けの休憩室を開設し、湯茶のサービスを行います。第1通信送付時に弁当の申し込みをされた方は、受付時に弁当引換券をお渡しいたします。

宿泊案内

別紙をご覧ください。

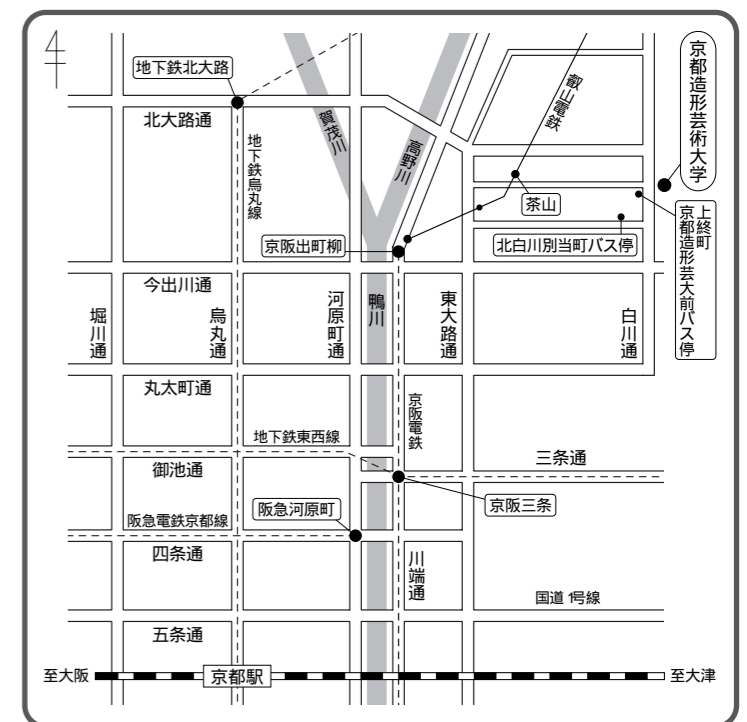
Access

JR京都駅より  
市バス5系統/岩倉行「上終町 京都造形芸大前」下車  
(乗車時間約50分)

阪急河原町駅より  
市バス5系統/岩倉行「上終町 京都造形芸大前」下車  
市バス3系統/百万遍 京都造形芸大前行 京都造形芸大前」下車  
(乗車時間約30分)

京阪三条駅より  
市バス5系統/岩倉行「上終町 京都造形芸大前」下車  
市バス3系統/百万遍 京都造形芸大前行 京都造形芸大前」下車  
(乗車時間約20分)

タクシー( JR京都駅より )  
2300円程度 (乗車時間約20分)



日本アニメーション学会

● 第5回大会

日本アニメーション学会第5回大会をここに開催します。これは第一線のアニメーション作家を始めとして、様々な研究者等が横断的に参加している学会で、今回が関西では初めての開催となります。

アニメーションは今日、あらためて日本を代表する表現メディアとして注目され、また様々な形でアニメーションは我々にとって日常化してまいります。今回はその中で特に常に揺動し変容しつづけるアニメーションの本来の姿に立ち返り、その今日におけるアニメーション表現の本質的な可能性を問う意味で「表現の拡張としてのアニメーション」と題して、多角的な側面から考察してみたいとおもいます。高嶺格をはじめとした現代美術のフィールドでの優れたアニメーション作品についてのシンポジウム、あるいは多様なコラボレーション・競作の試みについてのシンポジウム、そして広告やゲーム、TV番組を始め様々な形で独自のアニメーションの世界を示してきた佐藤雅彦と、映像前史的なもの現代の先端メディアと切り結ぶ岩井俊雄との初の対談も行われます。他にアニメーション史から原理的な考察にいたるまでの研究発表をはじめとして、実際の作品の上映・展示も含め、様々なアニメーションに触れ、考えることができることとおもいます。

すでにいわゆる現代美術やその他のフィールドでも多様な試みが行われており、またコラボレーションなどの形でいくつかの競作が試みられてもいます。おそらくそれも狭い個人性に閉じてゆくことのない変容への実験の希求のようにおもわれます。このように狭いエリアでのみアニメーションを考えるのではなく、広い裾野に広がった試みを包摂してゆくことで、あらためて自分と世界との関係を前提にした、世界変容の契機としてのアニメーションというラディカルズムを回復し、再考することにもなるのではないのでしょうか。それはひいては従来の当学会のアニメーションの概念を拓けることともなるとおもっています。ここに会員のみならず、広く一般の方々の参加を期待します。

第5回大会実行委員長 天野一夫

第2通信